



## Auktorisoidun kääntäjän tutkinto 14.11.2015

Kielet ja käännösuunta  
japanista suomeen

Aihepiiri (aukt3)  
koulutus

### Käännöstehtävä

Laadi liiteasiakirjasta laillisesti pätevä käännös

1. Käännettävä teksti

Japanin koulutus-, kulttuuri ja tiedeministeriön selvityksen aiheena ovat oppilaitokset, jotka tarjoavat keski- ja ylemmän asteen ammattiin tähtäävää koulutusta.

Lähteet:

[http://www.kosen-k.go.jp/hj\\_1-12tokushoku.html](http://www.kosen-k.go.jp/hj_1-12tokushoku.html)

[http://www.kosen-k.go.jp/hj\\_1-13kyoiku\\_jabee.html](http://www.kosen-k.go.jp/hj_1-13kyoiku_jabee.html)

2. Käännöksen käyttötarkoitus

Käännetään selvitys suomalaista korkeakoulua varten Japanista tulevan hakijan hakukelpoisuuden arvioimista varten.

*Huom! Käännökseen ei saa kirjoittaa vakuuslauseketta eikä nimeä!  
Vakuuslausekkeen tai nimen kirjoittaminen käännökseen johtaa  
tutkintosuorituksen hylkäämiseen.*

Käännettävän tekstin pituus 1015 merkkiä (translitteroituna latinalaisiksi aakkosiksi 2030 merkkiä).

## 国立高等専門学校<sup>1</sup>の学校制度上の特色

1950年代後半、我が国の経済成長はめざましく、それを支える科学・技術の更なる進歩に対応できる技術者養成の要望が強まっていました。こうした産業界からの要請に応じて、1962年に初めて国立高等専門学校（以下「高専」という。）が設立されました。

高専は、大学の教育システムとは異なり、社会が必要とする技術者を養成するため、中学校の卒業生を受け入れ、5年間（商船高専は5年半）の一貫教育を行う高等教育機関として、現在、51の国立高専があります。国立高専には、5年間の本科の後、2年間の専門教育を行う専攻科が設けられています。

高専では、幅広く豊かな人間教育を目指し、数学、英語、国語等の一般科目と専門科目をバランスよく学習しています。実験・実習を重視した専門教育を行い、大学とほぼ同程度の専門的な知識、技術が身につけられるよう工夫しているのが特徴です。特に卒業研究では、エンジニアとして自立できるような応用能力を養うことを目的としており、学会で発表できるような水準の高い研究も生まれています。

(---)

## 称号

高等専門学校卒業生は、準学士と称することができます。

## 学位

専攻科を修了した学生は大学評価・学位授与機構の審査を経て、学士の学位を取得できる。

## 高専教育の特色

国際的に通用する技術者の、育成認定専門教育プログラム“JABEE”への取り組みで高専が国際的な大学の教育レベルと同等であることが認証されています。

JABEE（一般社団法人日本技術者教育認定機構）とは、我が国の技術者教育の国際的な同等性を確保するとともに、技術者教育の振興を図り、国際的に通用する技術者の育成を通じて社会と産業の発展に寄与することを目的に、1999年に設立されました。学界と産業界の連携により、統一的基準に基づいて、大学や高専等の高等教育機関が行う技術者の育成を目的とする専門教育プログラムの認定を行っています。

(---)

基礎科目と専門科目は、5年間を通して効果的に配置されています。カリキュラムは、学生に勉強の進度の各段階に応じて理解力と問題解決能力が増すように作成されています。

高専は、高等教育機関にふさわしい実験・研究設備を備えています。学んだことを応用する能力を身につけるために、理論だけではなく実験と実習に重点が置かれています。さらに、インターンシップや工場見学により、企業等での就業体験も行われます。

卒業研究を通して、学生は、独立の精神を養い、創造性に富んだ技術者として開発設計を含めて研究する能力を育成しています。

産業構造の変化や現代の科学・技術の多様な進展などにも対応できるように、高専によっては情報デザイン学科、経営情報学科、コミュニケーション情報学科、国際流通学科、生物応用化学科などの新しい学科も設置されています。